

emath を動かしたい

emath を起動させるには $\text{T}_\text{E}\text{X}$ が必要です。 $\text{T}_\text{E}\text{X}$ については $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_\text{E}\text{X} 2_\epsilon$ 美文書作成入門が技術評論社から出版されています。そちらの本を入手して $\text{T}_\text{E}\text{X}$ をインストールするか、 $\text{T}_\text{E}\text{X}$ のダウンロードサイトからダウンロードして自力でインストールしてください。ただ、 $\text{T}_\text{E}\text{X}$ のインストーラーはサイトから手に入ります。emath 講座の下部にそのリンク先を置きましたのでご参照ください。リンク切れの場合はご了承ください。それを使い手順通りやれば、結構簡単にインストールできました。(私個人の感想です。)

emath のインストールは emath Wiki などをご参照ください。この emath ソフトは超安価(費用は基本お気持ち)です。

pszahyou

まず最初に一部を除いて、zahyou ではなく pszahyou 環境で作成した事例を紹介します。pszahyou 環境下では eps ファイルが生成されます。この画像形式は拡大によって画質が粗くなることはありません。スマートフォンなどで拡大しても乱れないのがものすごくいいです。その点ご了承ください。ここのサイトのものは小生が非力ながらにまとめたものです。作成のご参考にしてください。公開しているソースコードは完璧ではありません。使用に伴う責任は使用者ご自身の責任のもとご使用ください。

ここのサイトの数学の問題を作るにあたって、使用した内容について書いております。ですから、小生が使ったことのないものは分かりません。一部 emath サイトからソースをお借りして作っているものもあります。emath 全部のコマンドは僕も知りえません。全部知らなくても作れるのです。基本操作さえ知ってしまえば、その基本をご提供できればと思います。

ここに載っていないことで、詳しく知りたいのなら、emath Wiki をご参考にされた方が、より詳しく知ることができると思います。あなたも emath 使ってかっこいいプリント作りましょう。正直 $\text{T}_\text{E}\text{X}$ と emath をインストールできれば、エディタは Windows のメモ帳で十分です。僕の $\text{T}_\text{E}\text{X}$ のエディタは正直メモ帳です。困ることは半角と全角の違いに気付きにくい程度です。ここの講座で一人でも多くの emath 使いが増えることを願ってやみません。是非あなたも今日から emath を使いましょう。

tDB 様に感謝

このようなソフトを超安価にご提供して下さる tDB 様には感謝しております。emathbot 作成も快く快諾して下さり、この場をお借りして、お礼を申し上げます。